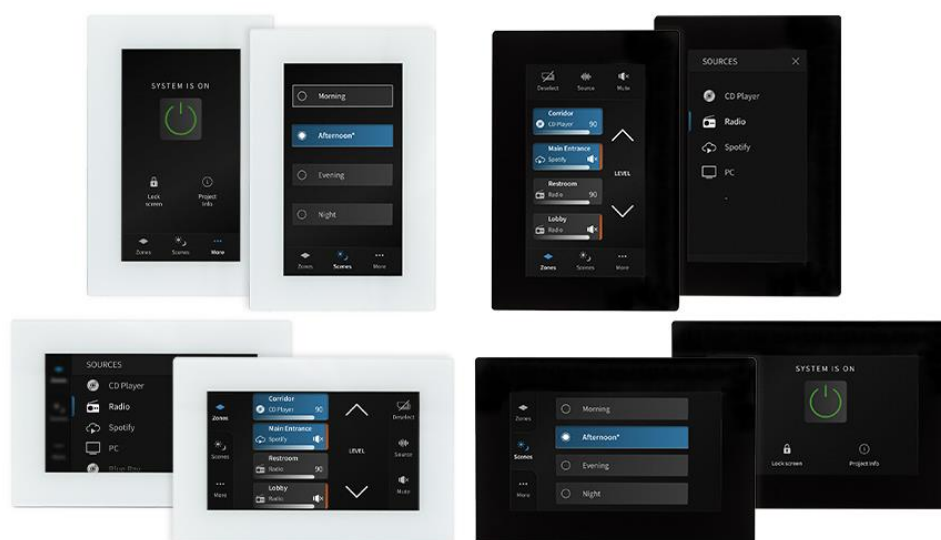


WM Touch ソフトウェアマニュアル



AUDIO))) BRAINS

株式会社オーディオブレインズ

ご挨拶

このたびは、WM Touch をご採用いただき、誠にありがとうございます。

未永く機器をご使用いただくために、こちらの書類を一読いただき、ご使用環境に合わせて設定を進めていく上で、参考としていただくと幸いです。

ハードウェアの使用方法は、別紙『WM Touch ハードウェアマニュアル』を参照ください。

このデバイスを使用するときは Armonia Plus の DMD(インストールシステム)の構築が必要になります。

製品概要

WM Touchは、Armonia PlusのDMD(インストールシステム)において、ゾーンのレベルとソースの選択、システムシーンのリコール、システム電源のオン/オフなど、オーディオシステムをリモートで制御することを目的としたPoe給電式の壁取り付けのタッチスクリーンコントローラーです。

WM Touchは、レベルを調整したり、単一および複数のゾーンのオーディオソースを選択したりするように構成できます。また、さまざまなシステム構成を呼び出したり、システム全体の電源のオン/オフを切り替えたりするためにも使用できます。

ユーザーは、設置環境に合わせて、スクリーンに表示する項目を選択しコントロール画面を構築することができます。

WM Touch は、次の 2 つの機能を持っています。

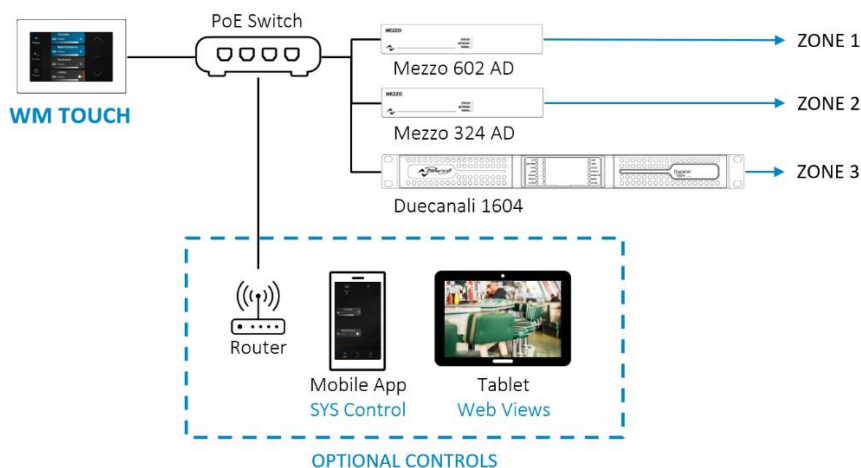
- ・ゾーンやソースの操作を含む、システムを制御するための壁掛け式タッチスクリーンとして使用できます。コントロールはイーサネットケーブルを介してネットワーク上で共有され、同じシステムで複数のタッチスクリーンを使用できます。

- ・Powersoft の SYS Control アプリや、タブレットや PC のウェブブラウザからアクセスできるようになる、システム制御のユーザーインターフェイス(Views Host)として使用できます。

システムを適切に構成していただければ、WM Touch がネットワークに存在するときはいつでも、アプリまたはウェブブラウザを介してシステムを制御することもできます。

※スマートフォンやタブレットを使用する場合は同じネットワークに接続するために wifi ルーターが必要になります。

1 つの WM Touch だけで、Powersoft アンプのシステム全体の制御を処理できます。これらのシステムコントロールにアクセスするために、ArmoniaPlus または専用 PC を実行し続ける必要はありません。

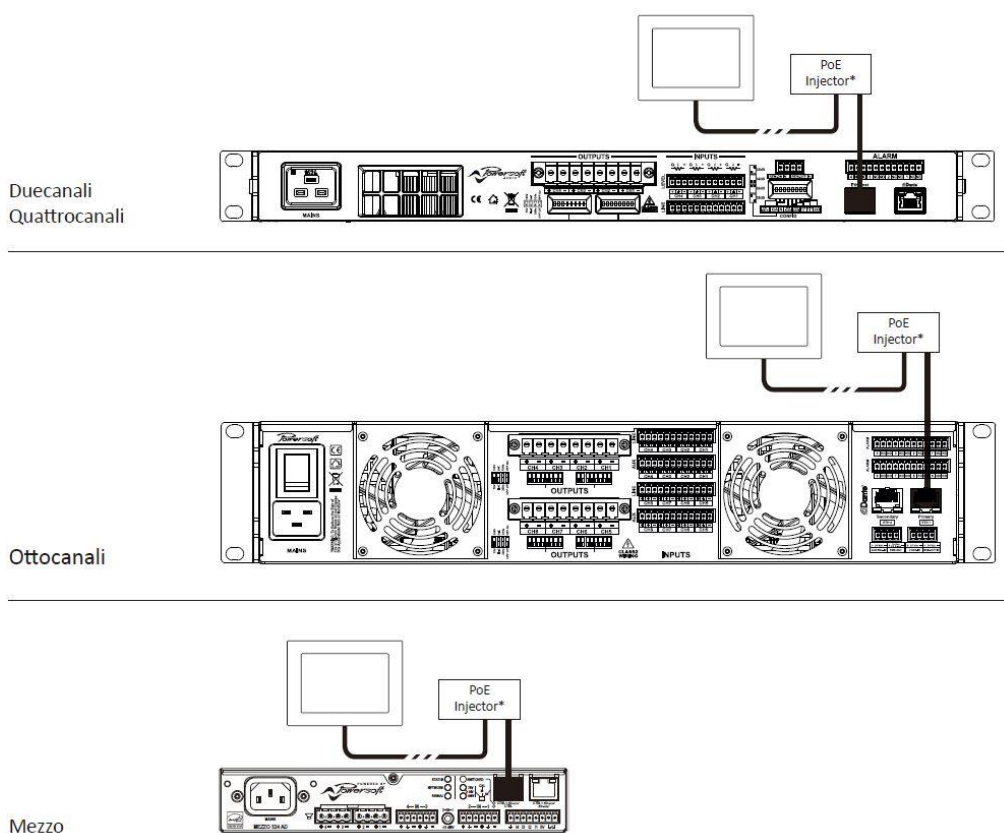


WM Touch に電力を供給するために PoE インジェクターまたは PoE スイッチが必要であり、接続には Cat5 規格以上の LAN ケーブルを使用してください。

WM Touch は、常にアンプのコントロールと同じネットワーク内にある必要があります。

以下の接続図は Wm Touch をネットワークへ接続する一例となります。

※図の PoE インジェクターは WM Touch に含まれていません。



■対応機種

WM Touch は、Mezzo A および AD シリーズのアンプの制御に最適な設計がされており、Duecanali DSP+D、Quattrocanali DSP+D、Ottocanali DSP+D、X シリーズ、および T シリーズアンプとも互換性があります。

コンフィグ

WM Touch はユーザーが ArmoníaPlus(バージョン 2.1 以降)で構成した DMD(インストールシステム)の設定に従いコントロール画面を表示させます。

また、機器の基本的なセットアップは WM Touch 本体でも設定することができます。

■ソフトウェアの構成

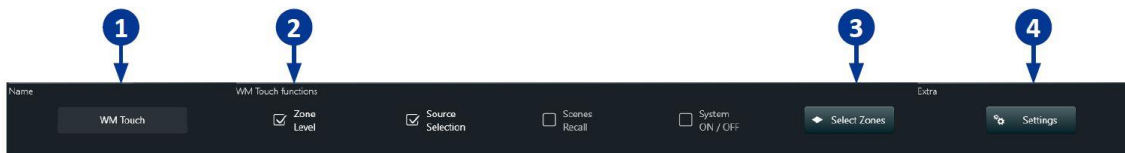
ArmoníaPlus では、バーチャルデバイスの WM Touch を、[デザイン]> [コントロール]のワークフローから、画面上部の[WM Touch]アイコンをクリックして、ワークスペースに追加できます。



または、ネットワークに接続されて使用可能な WM Touch を、[デザイン]> [同期]のワークフローからワークスペースにドラッグアンドドロップすることもできます。

検出された WM Touch には現在の IP アドレスが表示されます。

WM Touch がワークスペースに配置されたら、[デザイン]> [コントロール]のワークフローで設定するデバイスを選択し、画面下部のメニューから構成を設定していきます。



リボンメニューから、次のことが可能になります。

1.WM Touch の名前を編集します。これは、デバイス自体に表示される名前になります。

2.WM Touch に表示する機能を選択します。

- Zone Level:選択したゾーンのレベルとミュートのコントロールを表示します。
- Source Selection:ゾーンで利用可能なソースを選択できるようにします。
- Scenes Recall:ユーザーが作成したさまざまなシーン(システム構成)を切り替えられるようにします。
- System On/Off:システム電源のオン/オフボタンを表示します。アンプはスタンバイ状態になります。

3.WM Touch でコントロールするゾーンを選択します。このオプションは、[Zone Level]または[Source Selection]が選択されている場合にのみ使用できます。

最大半角 11 文字の Zone 名が WM Touch 本体に表示できます。

4.次のような追加の構成を実行します。

- 画面のロックがアクティブになる時間を調整できます(オンラインデバイスでのみ使用可能)。
タイマーは、WM Touch の本体で構成することもできます。
- コントロール画面にアクセスするための、4桁のパスコードを設定できます。
- 画面がロックされている時にスクリーンに表示するロゴを選択します。
ロゴはカスタムが可能で、任意の画像をロードして選択することもできます。

Powersoft アンプの場合と同様に、WM Touch の IP アドレスは[Config]> [IP]のワークフローで構成できます。このオプションは、オンラインデバイスでのみ使用できます。

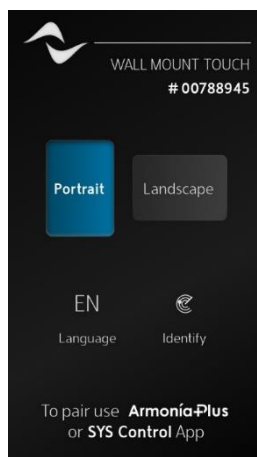
■本体の構成

●言語と画面の向き

WM Touch の起動画面では、画面の向きとインターフェイスの言語を設定できます。

●識別

起動画面には機器の識別ボタンも表示されます。“ブリンクする”ボタンを押すと、一致するデバイスが ArmoníaPlus で強調表示されます。

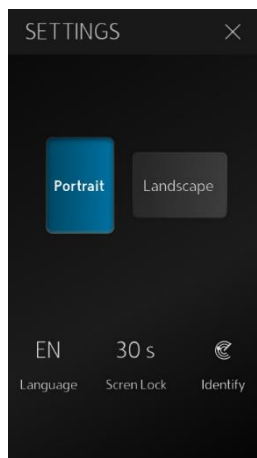


●設定メニュー

WM Touch が ArmoníaPlus で構成され、システムがすでに実行されている場合でも、設定メニューから言語と画面の向きを変更することができます。設定メニューにアクセスするには詳細のタブを選択します。

(システムの実行中にのみ表示されます)

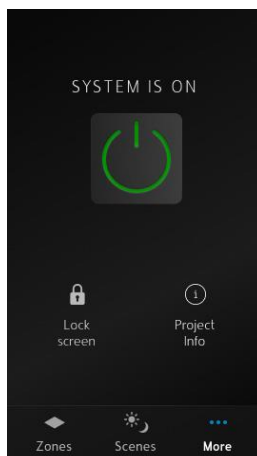
プロジェクト情報のアイコンを 5 秒間押し続けると設定メニューへ移行します。ブリンクボタンは、設定メニューでも使用できます。



●画面のロックとタイマー

[詳細]> [画面のロック]を押すと、タッチスクリーンを手動でロックできます。

デフォルトでは、操作しない状態が 30 秒間続くと画面が自動的にロックされ、ディスプレイの明るさが低下します。このタイマーは、設定メニューから変更できます。



オペレーション

WM Touch は、画面の向きや、ユーザーが構成したさまざまな設定に自動的に適応します。

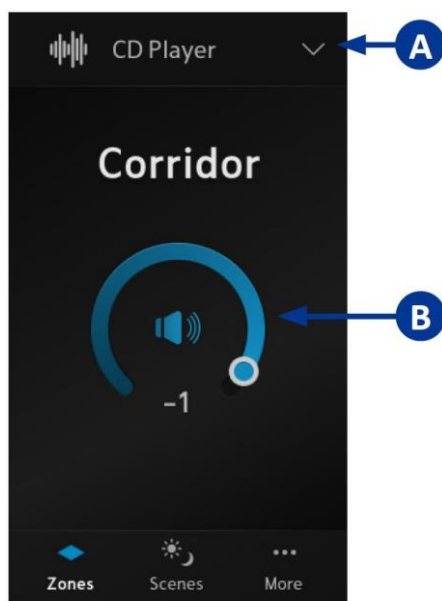
画面のレイアウトは、コントロールするゾーンの数に応じて変わります。

■シングルゾーンの操作

WM Touch が 1 つのゾーンを制御するように構成されている場合、音源を画面上部のドロップダウンメニューから選択できます(A)。

円形のスライダーを使用して音量を制御できます。

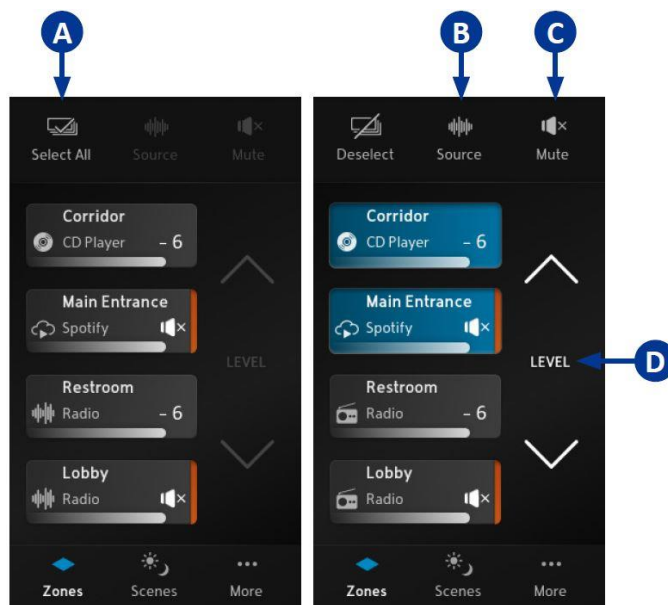
スピーカーアイコンを押すと、ゾーンの消音を操作できます(B)。



■マルチゾーンの操作

マルチゾーンの構成では、各ゾーンを手動で選択するか、全て選択のボタン(A)を使用して、複数のゾーンを同時にコントロールできます。

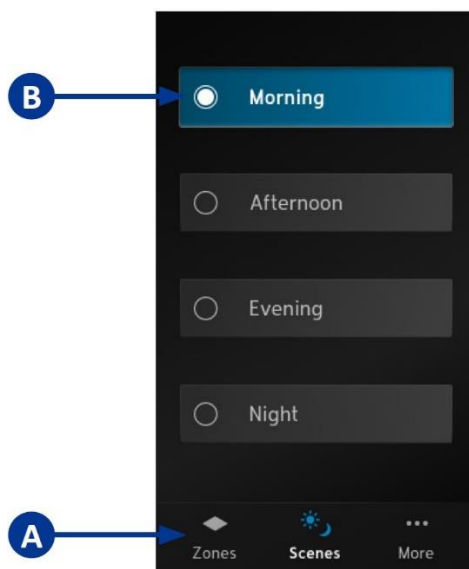
1つ以上のゾーンを選択すると、音源の選択(B)、消音の操作(C)、レベルを調整(D)などのコントロールができます。複数のゾーンを選択し、レベルを操作すると、ゾーン間のレベル差が維持され相対的に変更されます。



■シーンセレクション

画面下のタブメニュー(A)からシーンの切り替え画面にアクセスできます。

シーンのウィンドウでロードしたいシーンをロードアイコン(B)が白色になるまで押し続けて、シーンをロードします。



システムのオン/オフ

システム電源のオン/オフは、画面下のタブメニュー(A)の詳細からアクセスできます。

電源ボタンのアイコン(B)を押し続けて、システムの電源をオン/オフすることができます。

システム電源をオフにした場合、アンプはスタンバイ状態に移行します。



トラブルシューティング

まれに、再起動またはファームウェアの更新後に WM Touch に“Update Failed”というメッセージが表示される場合があります。以下の手順に従って、デバイスを復旧してください。

1. WM Touch と同じネットワークに接続されているコンピューターでウェブブラウザを起動します。問題のデバイスの IP アドレスを入力し、その後に“/recovery”を入力します。

例:192.168.1.1/recovery

これにより、WM Touch のリカバリページへアクセスできます。

WM Touch と同じネットワークにスマートフォンを接続している場合は、スクリーンに表示されている QR コードを使用してもリカバリページにアクセスできます。

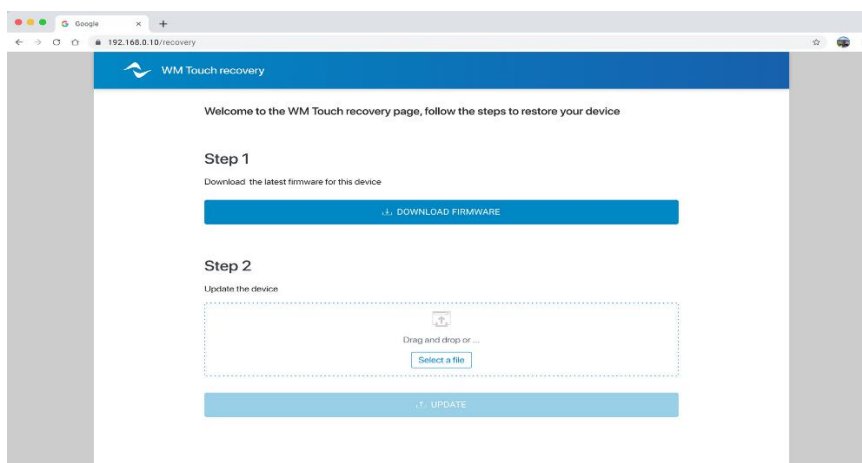
リカバリページに接続している間は ArmoníaPlus で検出できないことに注意してください。

2.コンピューターがインターネットに接続されている場合は、最新のファームウェアバージョンをダウンロードできます (Step 1)。

または、ファームウェアアップデートを含むファイルを手動でアップロードすることもできます (Step 2)。

3. [Update]をクリックして、更新を開始します。これには数分かかる場合があります。

4.更新が完了したら、ページを閉じます。



5.ArmoníaPlus で、画面の右上隅にある[CONTROLS & VIEWS]に移動し、現在実行中のシステムを停止します。



6.同期のファンクションからシステムの構成を WM Touch に再ロードします。

7.システムを再度実行します。

AUDIO))) BRAINS

当製品に関してご質問などございましたら、以下までお気軽にお問い合わせください。

受付時間:午前10時～午後6時(土曜・日曜・祝日、年末年始を除く)

【お問い合わせ先】

株式会社オーディオブレインズ

〒216-0034 神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷3-1

TEL:044-888-6761

URL:<https://audiobrains.com/>

2024.5
DO000XXX R00